



～子どもの心を受けとめて～

新緑のさわやかな季節になりました。園庭では、こいのぼりが風によって気持ちよさそうに泳いでいます。

新年度が始まり早いもので1か月が経ち、子どもたちの泣き声も少なくなり、随分と新しい生活に慣れてきました。登園時は涙がでることもありますが、自分の好きな玩具やあそびを見つけて遊んだり、天気の良い日には、園庭や屋上に出かけ、春の陽ざしや風を身体で感じて遊んでいる子どもたちです。保護者の皆さんには、園での子どもたちの様子が伝わるようにお便り帳やドキュメント(写真)でお知らせしていますが、近いうちに「ふれあいの部屋」を企画してビデオを上映して、子どもたちの園での姿を見ていただきたいと思っておりますのでどうぞ楽しみに。

先日、1歳児クラスのHくんと公園までお散歩に出かけたときのこと。それまではちょっぴり涙がでていたHくんでしたが、すぐにご機嫌になって私の手を引っぱり、「あっあっ」とお花を指さして教えてくれました。日頃からお母さんにたくさん声をかけてもらっているのでしょう。「あらよくみつけたね。お花がきれいに咲いてるね」と言うと、「あっ」と言いながら何度も私を振り返り、お花を覗き込んだり触ったりしていました。

まだ言葉を喋ることのできない子どもの指さしやつぶやきには、「みて、なにかな」「はながさいてるよ」「きれいだね」など、いろいろな意味があり思いがあふれています。そんな子どもたちのしぐさや表情に思いを馳せ、子どもの思いに寄り添いながら、言葉にかえて丁寧に応えていくことで、子どもは自分が受けとめられているという満足感

とともに、思いを相手に伝える喜びを味わい、そして少しずつ思いと言葉がつながり、言葉を覚えていきます。

2歳になると、随分おしゃべりが上手になり、時には現実と空想が入り混じった楽しいお話を聞かせてくれます。先日もお部屋の天井に陽ざしが差し込み、光と影がゆらめいているのを見て、「せんせい、おばけがみてるよ」と教えてくれました。大人にとっては何気ない出来事ですが、子どもと一緒に楽しくておもしろがり、その不思議さに気づく感性や発想を大切にしていきたいと思えます。何かを見つけた時、振り返ればそこに共感してくれる大人がいること、一緒に驚きと感動をともししてくれる大人がいることが、気づいたり感じるよろこびとなって、いろいろなことへの興味関心が広がり、さらに「やってみよう」という意欲につながっていくのだと考えます。人生をいかに生きるかの基礎は乳児期にあります。丸ごと受けとめてくれる大好きな大人との愛着関係があるからこそ、子どもたちは安心して一歩外の世界に踏み出し、様々な人と関わったり、いろいろなことに興味をもって挑戦していくことができるのです。

子どもたちは、泣いたり笑ったり、「いやだいやだ」と駄々をこねたりして、身体全体で私たちにメッセージを伝えています。お仕事が始まったばかりの方もいらっしゃると思いますが、お子さんと向き合い語りかけたりお子さんの思いに耳を傾け、「そうだね」「わかってるよ」と身体も心もぎゅっと抱きしめてあげてほしいと思えます。

園長



こどもの日(5日)

こどもの日は、^{たんご}端午の節句または^{しょうぶ}菖蒲の節句とも呼ばれ、古くは田の神を迎え、豊作を約束するための行事でした。

それが「菖蒲」を「尚武」「勝負」と関連させ、男児の立身出世を願う行事となってきました。今日のようにこいのぼりをあげたり、五月人形を飾る風習ができたのは江戸時代といわれています。この日に菖蒲を使うのは、これが薬草であり、また、とがった葉の形に靈力を感じての厄除けの意味もあります。

昭和23年の新しい国民の祝日の公布によって5月5日を「こどもの日」と定められました。

『園行事 資料と展開』参照

みみよう文庫 貸し出しについて

みみよう文庫の貸し出しが始まります。親子で本を選ぶひとは、楽しく、会話も増えるきっかけとなることでしょう。また、子どもにとって大好きな大人が絵本を読んでくれることで、愛情を実感し、親子のつながりが深まります。また想像力が身につく、発想豊かな子どもに育ちます。

機会をとらえ、親子で絵本を楽しんでいただけならによりです。

絵本を借りたら…

- ・絵本は、お子さんと対面ではなく、お膝に乗せて読んであげてください。
- ・できるだけゆったりとした時間の中で、一緒に絵本の世界を楽しむような気持ちで読んでいきましょう。

今月のみみよう文庫 16日(水) 16:00～

子育て応援メッセージ

子どもって
見えますか？



子どもはいつでも、ありのままの姿を見せてくれます。不安なことがあれば甘えたり、泣きわめいたり、わざとお父さん岡さんを困らせてみたり。あらゆる方法で、精いっぱい伝えようとしています。

いくつになっても、子どもの心の中には、親に気づいてもらいたい気持ちがあるのです。子どもの心の中を、そっとのぞいてみてください。いろんな気持ちがあることに気づきます。

(社)全国私立保育園連盟
子育てメッセージより

すこやか2018
5月19日(土)・20日(日)

時間：10:00～16:00

今年も広島市私立保育園協会後援で『子育て応援団、すこやか2018』が広島グリーンアリーナにおいて開催されます。

“あそびのコーナー”では楽しい製作ができたり、食育コーナーでは、栄養満点、簡単なおやつや朝食の紹介をする予定です。ぜひ親子でおでかけして、楽しい一日を過ごしていただければと思います。



火あそび ダメ!
「消さないで あなたの心の注意の火」
広島市南消防署
警防課 救助係